

明高だより

明石市荷山町 1744
TEL(078)911-4376

ひょうごスーパ ハイスクールに指定

今年度、本校は国内外の調査研究が全国トップレベルとなるよう取り組む学校として県教育委員会より「ひょうごスーパハイスクール」に研究指定されました。

本校では、グローバル社会

をデザインする科学系人材の育成」をテーマに、理数探究類型生徒を中心として、論理的思考力、課題解決能力、コミュニケーション能力、主体性等を身につけ、将来、国際的な舞台や地域でリーダーとして活躍する科学系人材の育成を目指します。主な取組は次の通りです。

① 京都大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、企業等と連携した5分野 生物・化学・物理・数学・情報)の課題研究

② ICTと芸術を活用したロボット工学やプログラミング等によるSTEAM教育の実践

③ 西オーストラリア州モリーワ高校と連携した共同研究、相互発表

④ 西オーストラリア大学での講義・実験実習・課題研究発表と大学教授による指導

⑤ 科学イベントでの課題研究発表プレゼンテーションや科学コンテスト等への参加

⑥ 大学教授や研究者による最先端の科学研究に係る特別講義及び実験講座の開催

一年次には基礎実験を行い、

実験・観察技術、実験データの処理方法、統計学に基づくデータ分析の手法、

プレゼンテーションに係る資料作成方法と発表手法を習得します。

二年次には課題研究、三年次には明石市への政策提言等を行います。



進学説明会

六月二十九日(月)、三年生の医療・看護系への進学を目指す生徒を対象に進学説明会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、市民の命を守るために自らの感染リスクも顧みず、その最前線で治療や看護などの医療に従事される方々の献身的な姿がクローズアップされています。志望理由は一人一人異なりますが、それぞれに医療・看護の果たす役割の重要性を強く認識し、人と向き合い人の命を守り支えるという強い使命感と責任感を持った生徒達が志望しています。

説明会では、予備校講師から職業としての医療・看護系の魅力、求められる資質能力、大学等の魅力と学びの特徴、受験に臨む心構え等様々な観点から講話をしていただきました。参加した生徒は真剣な眼差しでした。



三年保護者会

七月四日(土)、三年保護者会を開催し、多くの方々に参加していただきました。例年であれば、五月のPTA総会後にも開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、臨時休校が続いたため、この時期となりました。

校長と学年主任の挨拶、進路指導部長による今年度入試結果分析と来年度入試概要説明の後、教育コンサルタントの蔵下克也氏による「新大学入試に向けての心がまえ」と題した講演を行い、受験生を持つ保護者のあり方を中心に話していただきました。



後半は、文系、理系・理数探究類型、美術科の三つの分科会に分かれ、各系ごとに受験環境の変化・最新入試情報・入試動向、推薦入試受験等について詳細な説明を行い、理解を深めていただきました。

美術科対面式

学校が完全再開した六月十五日(月)、中部講堂において二ヶ月遅れの美術科対面式を行いました。

最初に校長が挨拶しました。

美術科の魅力として、充実した設備、特異な感性を備えた学生が県下全域から集まり、先輩後輩の枠を超えて相互に切磋琢磨し合い、刺激し合い、向上し合う環境を挙げ、明高での充実した三年間の学びを基盤にして進路目標を達成してほしいと伝えました。その後、七十五回生学年主任の挨拶、一年生全員の自己紹介、一年生代表の抱負、三年生代表の歓迎の言葉がありました。最後に、美術科教員を紹介し美術科長が激励しました。



明石高校ホームページ



[明石高校]で検索

http://www.hyogo-c.ed.jp/~akashi-hs/
活動の内容は兵庫県立明石高等学校ホームページでご覧いただけます